

提案する
政策名

食料の循環による脱炭素とエネルギー供給

学校名

盛岡中央高等学校附属中学校

チーム名

Team high bridge

現状分析

日本では、年間612万トン(150g/日)の食品廃棄物がスーパーやレストラン、食品業界から発生しています。従来の廃棄処理方法は環境への負荷を高めている一方で、食品廃棄物を飼料や再生可能エネルギーに変換する技術はまだ十分に活用されていません。食品廃棄物リサイクルの現状を分析すると、農業や環境保全、さらにはエネルギーの効率化に貢献する循環型システムを作り出すことが可能であり、これにより経済や環境の問題に対処する機会が見えてきます。

ビジョン

私たちが目指すのは、食品廃棄物を単なるゴミと見なさず、価値ある資源として捉える社会です。食品廃棄物を高品質な動物飼料に変換し、有機物をバイオガスとして再生可能エネルギーに変える技術を推進することで、持続可能な食の循環を促進し、環境保護とエネルギー効率の向上を図ります。このビジョンは、炭素排出量削減、農業のイノベーション、エネルギーの安定供給という広範な目標と一致しています。

政策の内容

この政策では、食品廃棄物リサイクルを促進するため、補助金や研究助成金、食品業界や畜産業、廃棄物管理に関わる民間企業とのパートナーシップを通じて、国家的な戦略を提案します。

主な取り組みは以下の通りです。

1. 食品廃棄物から飼料を製造する施設の拡大により、廃棄物の埋立処分を削減。
2. 有機廃棄物をバイオガスとして再生可能エネルギーに転換するプラントの支援拡大。
3. 食品廃棄物リサイクルの利点に対する産業界や一般消費者への啓発プログラムの推進。

これらの取り組みに加え、食品廃棄物処理に関する規制の強化や、積極的にリサイクルを実施する企業に対するインセンティブも導入します。

政策の効果

この政策が成功裏に実施されると、以下の効果が期待されます。

1. 廃棄物として埋立処分される食品廃棄物の量が現在と比較して全体の15%以下に削減されます。
2. 食品生産とエネルギー生成の持続可能なサイクルが確立され、再生可能エネルギーへの依存度が高まります。
3. 低コストで栄養価の高い飼料が畜産業に供給され、農業の強化が図られます。
4. 廃棄物による温室効果ガスの排出が現在と比較して70%以上抑制され、環境負荷が軽減されます。

※枠内の提案は審査に使用します。本紙は、大会終了まで、事前に参加する各チームに提示・共有は致しません。
※大会終了後に大会成果のとりまとめや行政機関の資料等で使用させていただくことがあります。

提案する
政策名

食料の循環による脱炭素とエネルギー供給

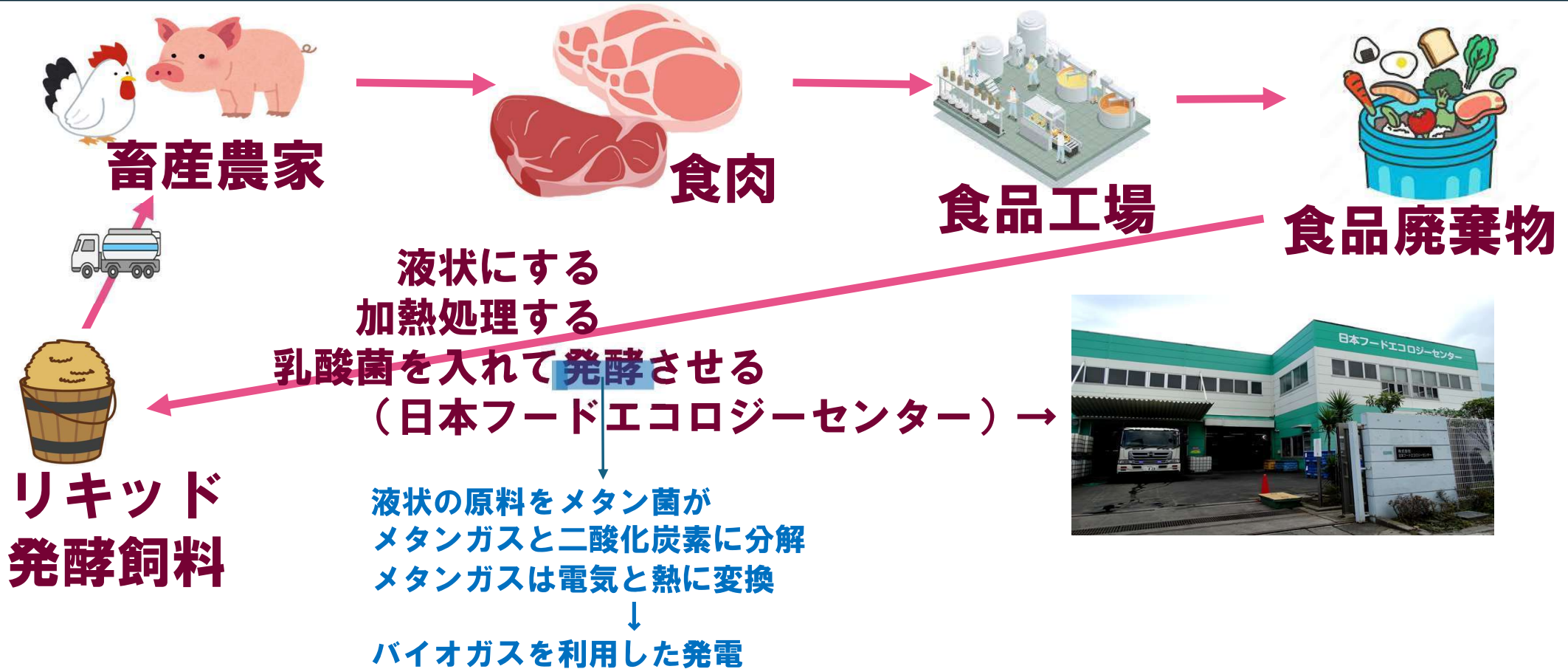
学校名

盛岡中央高等学校附属中学校

チーム名

Team high bridge

提案内容のイメージ図



※枠内の提案は審査に使用します。本紙は、大会終了まで、事前に参加する各チームに提示・共有は致しません。
※大会終了後に大会成果のとりまとめや行政機関の資料等で使用させていただくことがあります。